

平成二十一年六月二十六日受領  
答弁第五四九号

内閣衆質一七一第五四九号

平成二十一年六月二十六日

内閣総理大臣 麻生 太郎

衆議院議長 河野 洋平 殿

衆議院議員鈴木宗男君提出外務省におけるタクシー券の使用状況等に関する第三回質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員鈴木宗男君提出外務省におけるタクシー券の使用状況等に関する第三回質問に対する答弁書

一について

お尋ねの、年度ごとのタクシー券による支払金額は、平成十八年度約二億四千万円、平成十九年度約二億二千万円、平成二十年度約二億六百万円である。タクシー券使用枚数については平成十八年度は約五万二千枚であり、他の年度については、詳細な調査を行う必要があるため、お答えすることは困難である。

二について

過去のタクシー券による支払金額等に基づき要求を行っている。

三について

お尋ねについては、詳細な調査を行う必要があるため、お答えすることは困難である。

四について

外務省大臣官房において随時職員を対象に調査を行っているが、外務省職員によるタクシー券の不適正な使用の事例は確認されていないため、文書は残していない。

五について

先の答弁書（平成二十一年六月十二日内閣衆質一七一第五〇二号）四についてで述べたとおりである。